

香川県感染症月報

2010年 第8号 (13/Sep/2010 発行)

Infectious Disease Monthly Report Kagawa

Reported by Infectious Disease Information Center Kagawa

◆ 2010年8月の発生動向(届出数) ☆ 比較は定点あたりの人数による

■ 全数把握感染症の発生状況

1～4類感染症：2類：結核 16件、3類：腸管出血性大腸菌 O157 6件

5類感染症：後天性免疫不全症候群 1件、梅毒 1件、アメーバ赤痢 1件

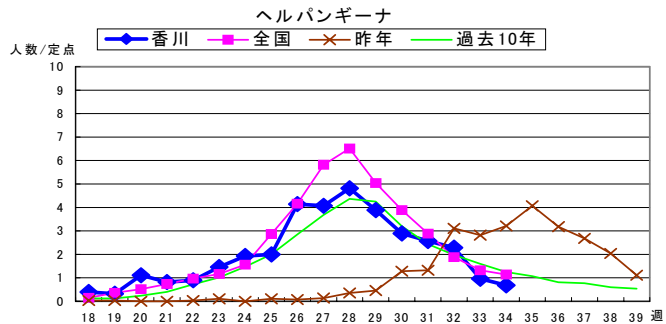
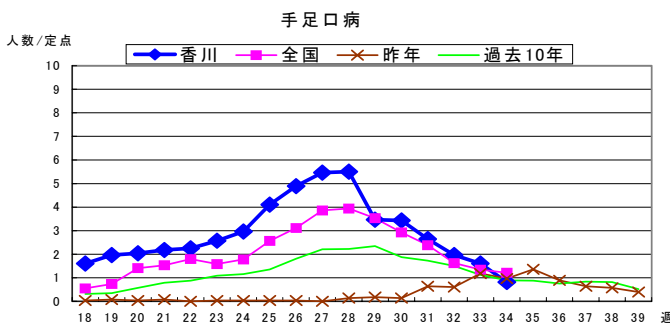
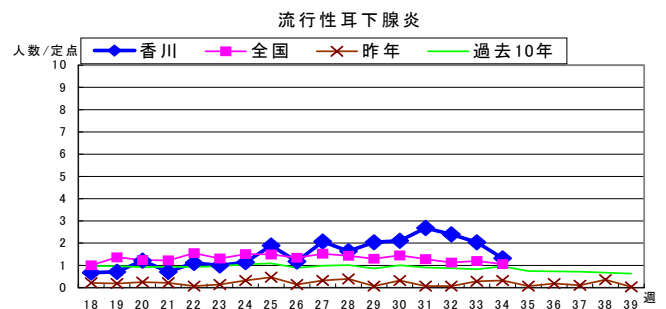
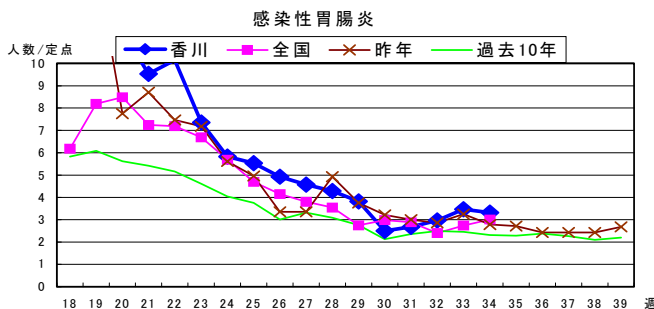
■ 定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたりの人数による

1. 感染性胃腸炎(ウイルス)は、定点当たり10.0人で前月比56.8%と減少した。
2. 流行性耳下腺炎は、定点当たり8.4人で前月比93.3%であった。
3. 手足口病は、定点当たり7.0人で前月比30.9%と減少した。
4. ヘルパンギーナは、定点当たり6.5人で前月比32.8%と減少した。

◆ 2010年8月の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾患) ☆ 比較は定点あたりの人数による

疾患名	今月	前月	前月比	過去5カ月の平均	過去10年の平均	報告の多い地区
① 感染性胃腸炎(ウイルス)	10.0 人	17.7 人	56.8%	37.1 人	7.4 人	中讃▽ 高松▽ 西讃▽
② 流行性耳下腺炎	8.4 人	9.0 人	93.3%	4.6 人	3.5 人	西讃▽ 高松▽ 中讃▽
③ 手足口病	7.0 人	22.8 人	30.9%	9.3 人	5.2 人	高松▽ 東讃▽ 小豆▽
④ ヘルパンギーナ	6.5 人	19.8 人	32.8%	6.3 人	7.3 人	中讃▽ 高松▽ 西讃▽
⑤ 突発性発疹	3.1 人	3.4 人	89.6%	2.9 人	3.3 人	西讃▽ 高松▽ 中讃▽

◆ 2010年8月の上位疾患の経過 ☆ 比較は定点あたりの人数による



◆ 2010年9月の流行予測

1. ヘルパンギーナ、手足口病等の夏型感染症は、さらに減少するものと思われる。

香川県感染症情報 平成22年8月

平成22年9月13日
 業務感染症対策課
 感染症、総務・結核グループ
 川瀬 近藤

感染症法に基づく、県内の全数把握感染症の平成22年8月分(第31週～第34週 平成22年8/2～平成22年8/29)の届出数は25件でした。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
感染症発生件数	15	17	19	18	15	16	30	25

類型別発生の累計は次のとおりです。

感染症の類型	届出数 8月	8月まで の累計	昨年同 期 累計	昨年1年間 累計	全国の届出数 8月までの累計
1類感染症	0	0	0	0	0
2類感染症	16	124	201	264	16333
・結核	16	124	201	264	16332
・その他 急性灰白髄炎	0	0	0	0	1
3類感染症	6	11	42	53	2,746
腸管出血性大腸菌	6	10	42	53	2,587
O157	6	9	8	19	—
O26	0	0	28	28	—
その他 O-121	0	1	6	6	—
・細菌性赤痢	0	1	0	0	119
・その他	0	0	0	0	40
4類感染症	0	6	6	9	1,176
・A型肝炎	0	0	0	0	295
・レジオネラ症	0	5	6	9	463
・オウム病	0	0	0	0	9
・Q熱	0	0	0	0	1
・その他 デング熱	0	1	0	0	408
5類感染症	3	14	14	20	2,981
・ウイルス性肝炎(A・E型を除く)	0	0	0	0	129
・後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)	1	3	1	2	952
・梅毒	1	5	3	3	394
・アメーバ赤痢	1	3	1	2	537
・劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	2	3	84
・クロイツフェルトヤコブ病	0	1	1	1	105
・急性脳炎	0	0	1	2	158
・風しん	0	0	0	0	67
・麻しん	0	0	4	5	357
・その他 ジアルジア症	0	1	1	2	198

次の感染症情報(平成22年9月分)については、県内分取りまとめ次第、情報提供いたします。